

観光文化スポーツ推進特別委員会

日時 令和7年3月18日（火）
午前10時
場所 第二委員会室

○ 議 題

《観光課》

- 1 八戸市観光振興プラン（素案）について

《文化創造推進課》

- 2 令和6年度「はちのへアート広場」ひろば交流会実施報告について

《スポーツ振興課》

- 3 青の煌めきあおもり国スポの開催に向けた市内スポーツ施設の改修について

《国民スポーツ大会準備室》

- 4 令和7年度国民スポーツ大会関連事業の概要について

《美術館》

- 5 令和7年度八戸市美術館の企画について

八戸市観光振興プラン（素案）について

1 プラン策定の趣旨

少子高齢化による人口減少が進む中、観光による消費は地方産業の活性化に寄与し、国内外との交流人口の拡大が地域活性化の鍵となっています。

アフターコロナの旅行スタイルの変化やインバウンドの増加などにより観光のトレンドやニーズが変化する中、持続可能で質の高い観光を実現するため、本市および官民連携による観光施策の基本的な取組方針を定め、観光を産業として地域に根づかせ、八戸市の観光再生と積極的に選ばれる都市を目指すことを目的としています。

2 計画の期間

令和7年度から令和11年度までの5年間

3 八戸市観光振興審議会委員について

	所属	職	氏名 (五十音順)
1	一般財団法人 VISIT はちのへ	専務理事兼事務局長 【会長】	あべ としかず 阿部 寿一
2	八戸学院大学	地域経営学部地域経営学科 准教授 【副会長】	いのうえ あかし 井上 丹
3	公募	会社役員	おおや ゆういちろう 大矢 雄一郎
4	(株)かまいしDMC	代表取締役	かとう ひでたか 河東 英宜
5	青森県観光交流推進部	部長	さいとう なおき 齋藤 直樹
6	(株)博報堂	PR プラニング 1 部長	たかはし けいち 高橋 啓一
7	八戸商工会議所	中小企業相談所 経営支援 2 課 課長	はら のりこ 原 智子
8	(株)ACプロモート	代表取締役	まちだ なおこ 町田 直子
9	八戸ホテル協議会	会長	まつはし みつゆき 松橋 満幸
10	(株)やまところ	代表取締役	むらやま けいすけ 村山 慶輔
11	東日本旅客鉄道(株)盛岡支社 八戸統括センター	所長（八戸駅長）	よしだ まさき 吉田 正樹
12	一般社団法人 東北観光推進機構	推進本部長	わたなべ あつし 渡辺 厚

4 これまでのプラン策定経緯

- 第1回（令和6年8月28日）
 - ・八戸市の観光に関する現状と課題について
- 第2回（令和6年11月6日）
 - ・目指すべき姿のイメージ案について
 - ・基本方針と数値目標について
- 第3回（令和6年12月20日）
 - ・八戸市観光振興プランの素案について
- 第4回（令和7年1月24日）
 - ・「種差海岸の魅力向上」について
- 第5回（令和7年2月18日）
 - ・「食のまち・八戸の推進」について
 - ・「インバウンド対応」について
- 第6回（令和7年3月19日開催予定）
 - ・八戸市観光振興プランについて

5 計画の構成

- 第1章 プランの策定にあたって
 - 1 なぜ観光に取り組むのか
 - 2 プラン策定の趣旨（基本的な考え方）
 - 3 プランの位置づけ
 - 4 計画期間
- 第2章 八戸市の観光の現状と課題
 - 1 これまでの八戸市の観光政策について
 - 2 観光取り巻く現状（国、県）
 - 3 当市の観光の現状
- 第3章 基本方針・目標
 - 1 将来ビジョン
 - 2 基本方針と数値目標
- 第4章 施策（プロジェクト）
 - 1 基本方針1に関する取組
 - 2 基本方針2に関する取組
 - 3 基本方針3に関する取組
 - 4 施策の中で特に力を入れる三本柱
 - 5 アクションプランの作成について
 - 6 役割分担
- 第5章 推進体制等
 - 1 推進体制
 - 2 進行管理
 - 3 八戸市観光振興プランの策定経過
 - 4 八戸市観光振興審議会概要（規則）

6 基本方針と施策（プロジェクト）

基本方針 1：地域の事業者が稼ぐ観光を目指し、観光消費額を拡大する

（観光客の増加だけでなく「質の高い観光」を通じて事業者が稼ぐ観光を目指す）

【KPI の考え方】

観光消費額の拡大（参考：青森県観光戦略観光消費額）

1,495 億円（2022 年） → 2,000 億円（2028 年）

※青森県の観光戦略においても観光消費額の拡大を目標としており、数値目標については、県の目標を参考にしながら設定する予定

- (1) 食のまち・八戸の推進
- (2) 国立公園種差海岸の魅力向上
- (3) インバウンド対応の充実
- (4) 付加価値の創出
- (5) 文化観光・スポーツツーリズムの推進
- (6) 観光インフラ整備
- (7) 地域全体での連携強化
- (8) 国内外からの誘客の促進 等

基本方針 2：持続可能な観光を確立し、地域経済の活性化、環境保護、地域文化の保存と継承を進める

（環境、文化の保全と観光客の受入れを両立しながら、観光業の活性化を進めていく）

【KPI の考え方】

日本版持続可能な観光ガイドライン（JSTS-D）に沿って取り組みを進め、「持続可能な観光地 100 選」の選出を目指す。

- (1) 観光庁が策定した日本版 持続可能な観光ガイドライン（JSTS-D）を活用しながら、効果的で持続可能な観光地マネジメントへの取組を進める。

基本方針 3：観光振興による市民の幸福度の向上

（市民が観光による恩恵を実感し、市民の「住みやすさ」や「誇り」など市民一人ひとりの生活の質や幸福度の向上につなげていく）

【KPI の考え方】

市民アンケートにおける「観光地域づくりの推進」の満足度の向上

（参考：令和 6 年 37.6%）

※参考指標として

①来訪者（宿泊者）を対象としたアンケートにおける来訪者満足率

②リピーター率（宿泊者）

の設定を検討しており、市民と来訪者のいずれの満足度も向上させる取組を実施する。

- (1) 観光人材の育成
- (2) 観光による経済活性化
- (3) 出会いと交流（関係人口の拡大） 等

7 施策（プロジェクト）の中で優先的に取り組む三本柱

（1）食のまち・八戸の推進

「ここでしか味わえない食体験」を提供することで、食を通じた八戸の旅の満足度を高めるとともに、「地産地消」の推進により地域経済の活性化を図る。

- ①食を通じて八戸の旅の満足度を高める
- ②当市の水産・畜産等と観光を融合させ新たな観光を創造する
- ③食べに行きたくなる街の仕掛け

（2）三陸復興国立公園「種差海岸」の魅力向上

自然の活用と守るべき価値の保存との両立の推進

- ①「種差海岸」の豊かな自然の活用と守るべき価値の保存
- ②民間投資を呼びこむエリアの設定
- ③みちのく潮風トレイルの北の玄関口としてのブランド価値の向上
- ④八戸十和田トレイル（仮称）と連動させたPR

（3）インバウンド対応の充実

観光客だけでなくスポーツ大会や合宿も含めた集客と受入環境の整備を進めていく

- ①インバウンドにおける八戸の認知度向上
- ②広域連携による誘客とキャッシュレス決済など受入の両輪による事業展開の実施
- ③インバウンドに注目されているみちのく潮風トレイルのブランディング
- ④大型客船の誘致

8 推進体制等

- （1）八戸市観光振興審議会において、本プランの取組状況や数値目標の達成状況等の確認、評価・検証を行う。
- （2）施策を進めていくため、令和7年度中に具体的な取組等を示したアクションプランを作成し、計画を実現するための行動計画を示す。

【参考：日本版持続可能な観光ガイドライン（JSTS-D）の取組項目】

A: 持続可能なマネジメント	B: 社会経済のサステナビリティ	C: 文化的サステナビリティ	D: 環境のサステナビリティ
A1. デスティネーション・マネジメント(観光地経営)戦略と実行計画 A2. デスティネーション・マネジメント(観光地経営)の責任 A3. モニタリングと結果の公表 A4. 観光による負荷軽減のための財源 A5. 事業者における持続可能な観光への理解促進 A6. 住民参加と意見聴取 A7. 住民意見の調査 A8. 観光教育 A9. 旅行者意見の調査 A10. プロモーションと情報 A11. 旅行者の数と活動の管理 A12. 計画に関する規制と開発管理 A13. 適切な民泊運営 A14. 気候変動への適応 A15. 危機管理 A16. 感染症対策	B1. 観光による経済効果の測定 B2. ディーセント・ワークと雇用機会 B3. 地域事業者の支援と公正な取引 B4. コミュニティへの支援 B5. 搾取や差別の防止 B6. 地権と使用権利 B7. 安全と治安 B8. 多様な受入環境整備	C1. 文化遺産の保護 C2. 有形文化遺産 C3. 無形文化遺産 C4. 地域住民のアクセス権 C5. 知的財産 C6. 文化遺産における旅行者の管理 C7. 文化遺産における旅行者のふるまい C8. 観光資源の解説	D1. 自然遺産 D2. 自然遺産における旅行者の管理 D3. 自然遺産における旅行者のふるまい D4. 生態系の維持 D5. 野生生物の保護 D6. 動物福祉 D7. 省エネルギー D8. 水資源の管理 D9. 水質 D10. 排水 D11. 廃棄物 D12. 温室効果ガスの排出と気候変動の緩和 D13. 環境負荷の小さい交通 D14. 光害 D15. 騒音

令和6年度「はちのへアート広場」ひろば交流会実施報告について

1. 目的

「はちのへ文化のまちづくりプラン」では、文化芸術活動の可能性や効果を大きく広げるため、多様な主体が自主的に参加でき、対等な立場でゆるやかに連携や協働ができる八戸ならではのプラットフォームづくりを目指すこととしている。

このプラットフォームを「はちのへアート広場」と称し、文化芸術を取り巻く環境変化や、市内外の先進的・特徴的な取組事例などを学びあうことを通して、既存の取組のブラッシュアップや新たな取組について参加者が自ら考える機会とし、参加者相互の交流やネットワーキングから複数のスモールスタート事業を生み出し、持続可能で幅広い活動につなげていくことを目指す。

2. 全3回ひろば交流会の開催概要

○第1回

(開催の様子)

○テーマ：クリエイティブビジネスの振興について

日時 令和6年7月19日(金) 13:30～

会場 はっち2階 シアター2

内容 近年、伝統工芸や障がい者アートの魅力と価値の発信の手段として、商品パッケージや広報物デザインへの活用など、従来とは違った角度で商品化し、市域を超えた広域的なビジネスが展開されている。

このように文化芸術活動とクリエイティブビジネス

の多様なコラボレーションや異文化との融合による新しい取組について考える。

コーディネーター はちのへ文化のまちづくりアドバイザーボード 太下委員長

パネリスト 株式会社金入 代表取締役社長 金入 健雄 氏

株式会社ニューモア/想造楽工 代表 宮島 依子 氏

参加者数 25名

参加対象者 文化活動団体、一般市民、中心商店街店舗経営者、まちづくり関係者

パネリストの主なコメント

- ・小売業といった立場を生かしながら、地域の課題や魅力発信をテーマとした事業で地域の発展に寄与し、まだ埋もれた地域企業や文化から新たなローカルヒーローを見いだす仕事をしていきたい。
- ・障がいの有無で境界線が引かれる状態を無くしたい。これはどういう方がデザインしたかという前に、可愛い、素敵だと思う状態を目指したい。

参加者の意見

- ・自分が関わっている、菱刺し・障がい者アートの両方について、とても刺激になる



話がきけた。

- ・貴重な機会でした。もっと多くの人に参加してもらいたい。
参加者同士の感想も聞けてそれも良かった。また参加したい。

(開催の様子)



○第2回

○テーマ：「地域に根付く郷土芸能について」

日時 令和6年12月8日(日) 14:00~16:00

会場 八戸市南部会館

内容 令和6年10月に八戸市において開催した「三陸国際芸術祭」を振り返りながら、テーマについて3人のパネリストとコーディネーターでディスカッションを行った。

前半小テーマ：三陸国際芸術祭(郷土芸能)

に関わりを持ったきっかけ

後半小テーマ：郷土芸能団体の人手不足、高齢化、芸能の伝承などの課題への取組

コーディネーター はちのへ文化のまちづくりアドバイザーボード 太下委員長

パネリスト 三陸国際芸術祭八戸ディレクター 今川 和佳子氏

三陸国際芸術祭国内団体サポーター 本間 理子氏

階上町平内鶏舞組代表 引敷林 安幸氏

参加者数 20名

パネリストの意見

- ・郷土芸能は本来、見世物ではなく、そこに住む人々の生活、習俗、信仰と深く結びついているものであるため、昔はイベントへの出演などは断られることが多かった。近年は普及啓発のため出演してくれる団体も増えてきている。そのことにより、団体に活気が出たとか、お囃子が復活したという話も聞く。
- ・学校部活動の地域移行が課題となっているが、郷土芸能との融合も考えても良い。また、中学校体育でダンスが必修化しているが、郷土芸能をやってもいいのではないか。
- ・郷土芸能の由来など、アーカイブ化して文字情報で残した方が良い。

はちのへ
アート広場
ひろば交流会

令和6年
12.8(日)
14:00~16:00
八戸市南部会館(八戸市南八丁3日5番5号)

参加無料
定員30名

コーディネーター
はちのへ文化のまちづくり
アドバイザーボード 太下 義之志氏
三陸国際芸術祭 国内団体サポーター
本間 理子氏
階上町平内鶏舞組代表
引敷林 安幸氏

パネリスト
三陸国際芸術祭 八戸ディレクター
今川 和佳子氏
三陸国際芸術祭 国内団体サポーター
本間 理子氏
階上町平内鶏舞組代表
引敷林 安幸氏

申込方法
申込書(住所、氏名、年齢、性別、電話番号)を
〒990-0001 八戸市南八丁3日5番5号 八戸市南部会館
事務局(受付時間:平日 10:00~16:00)までお送りください。
お申し込みは12月5日(木)までです。
お申し込みの受付はなくなり次第終了となります。

申込締切
12.5(木)

お問い合わせ
事務局 0178-62-1111 FAX 0178-62-1107 E-mail: hachinohe@hachinohe.aomori.jp

参加者の意見

- ・子どもの頃から郷土芸能が好きだったが、地元にならなかつたため直接携わることができなかつた。だからこそ見るのが好きで、色々な芸能を見て回るようになった。

(開催の様子)



○第3回

テーマ：「はちのへアート広場」のこれまでとこれから

日時：令和7年2月21日（金）13：30～15：30

会場：八戸ポータルミュージアム 2階シアター2

内容：令和5年3月より、「はちのへアート広場」

ひろば交流会を計6回開催してきた。

ここから派生した取組みなどについて、過去の発表者を交え、事業の振り返りを行った。

前半：取組紹介

- ・ひろば交流会をきっかけに新たな取組み繋がった事例の紹介

後半：トークセッション

- ・それぞれの活動分野で求めるプラットフォームについて
- ・はちのへアート広場のこれからの期待すること

コーディネーター はちのへ文化のまちづくりアドバイザーボード 太下委員長

パネリスト 建築家 アーティスト 高砂 充希子氏

インフィニートコラルコ弦楽合奏団 代表 高橋 めぐみ氏

Ao（あお）代表 長塚 佳子氏

参加者数 18名

パネリストの意見

- ・多種多様なモノが共存できて横断できる場所。色々な分野のスペシャリストに会えるような場としてプラットフォームがあればいい。「ネオ一平」がそういう場所になりつつある。
- ・地元出身で、全国、世界で活躍している演奏家はたくさんいる。地元出身者が地元で演奏できる喜び、地元へ貢献できる喜びをたくさんの演奏者に体験してほしい。
- ・自閉症の症状は様々であるが、絵を描く人が多い。しかし描いた絵をどうしよう？となるので、展示会の実施や商品化に向けた相談ができる体制があると嬉しい。

令和7年
2.21(金)
13:30~15:30
はっち 2階シアター2

テーマ「はちのへアート広場のこれまでとこれから」

申込方法
申込費 300円（税込）※会場にて現金受付
申込先 八戸ポータルミュージアム 2階シアター2
TEL 019-233-2100 FAX 019-233-2101

パネリスト
高砂 充希子氏
高橋 めぐみ氏
長塚 佳子氏

定員 30名
参加費 無料

お問い合わせ先
八戸ポータルミュージアム 2階シアター2
TEL 019-233-2100 FAX 019-233-2101

- ・アート広場に出演したことで、自分の活動範囲で出会えない人に出会えたことは財産である。
- ・各々活動範囲が広いので、日常の活動では会うことのないような人たちをマッチングすることで、新たな面白い取り組みが生まれるのではないかと。

参加者の意見

- ・デジタルアートと Ao と高砂さん、高橋さん、あと DJ とのコラボとか今回の方々が一緒に作品展示・コンサートしたらおもしろいと思います。
- ・障がい者アートに関して実現できるような話が聞けてよかったです。

(開催の様子)



3. ひろば交流会の開催概要の周知について

今年度の「はちのへアート広場」ひろば交流会の概要は、市ホームページに掲載するほか、文化創造推進課が運営するインスタグラム、市の SNS 等を通じて広く市民に周知することとしたい。

青の焔めきあおもり国スポの開催に向けた市内スポーツ施設の改修について

1 テクノルアイスパーク八戸

<ul style="list-style-type: none"> ・競技名 アイスホッケー 全種別 ・競技日程 令和8年2月4日～8日
--

(1) 改修の内容 冷却設備改修工事

(2) 工事契約金額 149,380 千円

(財源) 千円

スポーツ振興 くじ助成金 (補助率 3/4)	社会体育施設 整備事業債	一般財源	合計
111,370	34,100	3,910	149,380

(3) 工事期間 (予定) 令和6年6月6日～令和7年7月頃

(4) 休館期間 (予定) 令和7年3月17日～令和7年7月頃
 ※通常の休館期間：5月1日～7月下旬

2 八戸市東体育館

<ul style="list-style-type: none"> ・競技名 バスケットボール 成年男子 ・競技日程 令和8年10月15日～18日

(1) 改修の内容 アリーナ床改修工事

(2) 概算設計額 140,690 千円

(財源) 千円

スポーツ振興 くじ助成金 (補助率 2/3)	青森県 (補助率 1/6)	社会体育施設 整備事業債	一般財源	合計
93,793	23,448	21,100	2,349	140,690

(3) 工事期間 (予定) 令和7年6月頃～令和8年1月頃

(4) 休館期間 (予定) 令和7年7月頃～令和8年1月頃
 ※体育室及びトレーニング室は利用可能の予定

3 八戸自転車競技場（所有者 公益財団法人青森県スポーツ協会）

・競技名 自転車（トラックレース）全種別 ・競技日程 令和8年10月12日～15日 ※リハーサル大会 第60回全国都道府県対抗自転車競技大会 令和7年10月6日～7日
--

(1) 改修の内容

- ①令和6年度～令和7年度 バンク改修工事等
 : 事業主体 公益財団法人青森県スポーツ協会
- ②令和7年度 管理棟前階段スロープ・通路改修工事
 : 事業主体 八戸市

(2) 工事契約金額

- ①バンク改修工事等 149,273 千円

(財源)		千円
青森県 (補助率 1/2)	八戸市 (補助率 1/2)	合計
74,636	74,637	149,273

- ②管理棟前階段スロープ・通路改修工事 14,000 千円 ※概算設計額

(財源)			千円
青森県 (補助率 1/2)	社会体育施設 整備事業債	一般財源	合計
7,000	5,200	1,800	14,000

(3) 工事期間（予定）

- ② バンク改修工事等 令和6年8月9日～令和7年9月頃
- ②管理棟前階段スロープ・通路改修工事 令和7年5月頃～令和7年12月頃

(4) 休館期間（予定） 令和6年9月1日～令和7年3月31日

令和7年度国民スポーツ大会関連事業の概要について

1 青の煌めきあおもり国スポ競技別リハーサル大会開催概要 ※●⇒競技日

(1) レスリング【第71回東北高等学校レスリング選手権大会】

競技会場	令和7年6月	
	21日(土)	22日(日)
FLAT HACHINOHE	●	●

(参考)
 R6 滋賀(近畿)大会実績
 ⇒18校(学校対抗戦参加分)
 ※個人戦含めると29校
 選手255人参加

(2) 自転車(トラックレース)【第60回全国都道府県対抗自転車競技大会】

競技会場	令和7年10月	
	6日(月)	7日(火)
八戸自転車競技場	●	●

(参考)
 R6 滋賀(京都開催)大会実績
 ⇒34都道府県・選手211人参加

(3) サッカー【第61回全国社会人サッカー選手権大会】

競技会場	令和7年10月				
	11日(土)	12日(日)	13日(月)	14日(火)	15日(水)
プライフーズスタジアム	●			●	●
東運動公園陸上競技場	●		●		
南郷陸上競技場	●		●		

(参考) R6 滋賀大会実績 ⇒32都道府県・選手865人参加

(4) ボウリング【第54回全国都道府県対抗ボウリング選手権大会】

競技会場	令和7年10月		
	17日(金)	18日(土)	19日(日)
ゆりの木ボウル	●	●	●

(参考)
 R6 滋賀大会実績
 ⇒35都道府県
 選手211人参加

2 青の煌めきあおもり国スポ冬季大会開催概要

会期：令和8年1月31日(土)～2月8日(日)(9日間)

(1) スケート(フィギュア) / 全種別

競技会場	令和8年1月・2月			
	31日(土)	1日(日)	2日(月)	3日(火)
FLAT HACHINOHE	●	●	●	●

(参考)
 R5 特別国体実績
 ⇒22都道府県
 監督・選手
 174人参加

(2) スケート(スピード) / 全種別

競技会場	令和8年2月			
	5日(木)	6日(金)	7日(土)	8日(日)
YSアリーナ八戸	●	●	●	●

(参考)
 R5 特別国体実績
 ⇒24都道府県
 監督・選手
 338人参加

(3) アイスホッケー / 全種別

競技会場	令和8年2月				
	4日(水)	5日(木)	6日(金)	7日(土)	8日(日)
テクノルアイスパーク八戸	●	●	●	●	●
FLAT HACHINOHE	●	●	●	●	●
(三沢アイスアリーナ)	●	●	●	●	

(参考) R5 特別国体実績 ⇒27都道府県 監督・選手639人参加

3 令和8年国スポ本大会の開催準備について（主なもの）

(1) 市実行委員会が定める各種計画に関連する事務の推進

- 八戸市広報基本計画（ホームページ、SNS等での情報発信など）
- 八戸市市民運動基本計画（学校観戦・郷土料理振舞いの調整など）
- 八戸市歓迎・おもてなし基本計画（歓迎装飾の実施、案内所の設置など）
- 八戸市競技運営基本計画（競技役員等の編成、競技用具の整備など）
- 八戸市施設整備基本計画（競技施設等の整備、仮設物配置・ゾーニング等の設計など）
- 八戸市医事・衛生基本計画（各会場内の医療救護体制、廃棄物処理体制の構築など）
- 八戸市輸送・交通基本計画（選手等の輸送計画策定、駐車場の確保など）
- 八戸市警備・消防防災基本計画（警備体制の構築、災害発生時の連絡体制の構築など）
- 八戸市情報通信基本計画（各競技会場におけるWi-Fi環境の整備など）
- 八戸市式典基本計画（各競技における開始式・表彰式の開催など）
- 八戸市宿泊基本計画（大会参加者等の宿舎確保、食事提供の調整など）

(2) 企業協賛の募集

(3) 市民ボランティアの募集

(4) 弁当メニュー作成・調達の準備 など

【参考】青の煌めきあおもり国スポ（本大会）開催概要

会期：令和8年10月10日～20日（11日間）〔7競技〕

競技名	種別	競技日程	競技会場名
サッカー	少年男子	10月10日～14日	プライフーズスタジアム 東運動公園陸上競技場 南郷陸上競技場
バスケットボール	成年男子	10月15日～18日	東体育館
レスリング	全種別	10月12日～15日	FLAT HACHINOHE
自転車 (トラックレース)	全種別	10月12日～15日	八戸自転車競技場
ソフトボール	成年男子	10月17日～19日	長根公園野球場 東運動公園野球場
ラグビーフットボール (7人制)	成年男子 女子	10月16日～19日	プライフーズスタジアム
ボウリング	全種別	10月12日～16日	ゆりの木ボウル

【参考】青の煌めきあおもり国スポ歓迎装飾の取組状況

バナーフラッグ設置① 中心街（三日町・十三日町・八日町） ※3月上旬設置済み



バナーフラッグ設置② 道の駅なんごう周辺

※3月上旬設置済み



八戸駅階段装飾・バナーフラッグ ※3月20日（木・祝）設置予定（イメージ）



〔予定〕 階段装飾除幕式（市長・八戸駅長）

日時 令和7年3月20日（木・祝）10:30~10:50

場所 八戸駅東口

令和7年度八戸市美術館の企画について

1. 概要

令和7年度の展覧会については、現在盛り上がりみせる浮世絵の展覧会をはじめ、世界的なコンテンツであるポケットモンスターをテーマにした工芸作品の巡回展、また、特別貸館により高い人気を誇る巡回展を開催する。

2. 令和7年度的主要企画内容について

(1) 展覧会

①企画展「浮世絵コンニチは タイカンする江戸文化」

浮世絵とはどんなものか、作品や道具・版木等の約200点の展示によって多角的に紹介。浮世絵を通じて今日（コンニチ）をみつめ、江戸文化を大観（タイカン）しながら、体感（タイカン）する展覧会。

■会期：令和7年4月19日（土）～6月15日（日）

■主催：八戸市美術館 共同企画：八戸クリニック街かどミュージアム

■展示作品：浮世絵、版木、版画用道具等 約200点



歌川国貞《双蝶々曲輪日記》安政元(1854)年
八戸クリニック街かどミュージアム蔵



歌川広重《東海道五十三次之内 庄野 白雨》天保4-5(1833-34)年
八戸クリニック街かどミュージアム蔵

②巡回展「ポケモン×工芸展 —美とわざの大発見—」

世界的に人気を集めるポケットモンスターをテーマに、人間国宝から注目の若手まで、日本を代表する工芸作家たちが、多種多様な素材と技法、美意識によって表現した世界を楽しめる展覧会。北海道・東北エリアでは初開催となる。

■会期：令和7年6月28日（土）～8月31日（日）

■主催：ポケモン×工芸展八戸実行委員会

■展示作品：陶芸、漆、木工、金工、染織等 約100点



吉田泰一郎《シャワーズ》2022 個人蔵



植葉香澄《羊歯唐草文シェイミ》
2022 個人蔵



今井完眞《フシギバナ》2022
個人蔵

③特別貸館「古代エジプト美術館展」

日本唯一の古代エジプト専門美術館である「古代エジプト美術館 渋谷」のコレクションを紹介する展覧会。本コレクションは、今から 6,500 年前～2,000 年前に栄えた古代エジプト文明を網羅しており、ミイラやミイラマスク、木棺など世界的に貴重な遺物約 200 点を展示。

- 会期：令和 7 年 10 月 11 日（土）～12 月 15 日（月）
- 主催：デーリー東北新聞社、古代エジプト美術館 渋谷
- 共催：八戸市美術館
- 作品：ミイラ、ミイラマスク、木棺、レリーフ等約 200 点

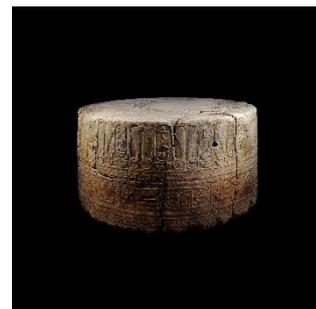


ミイラマスク／プトレマイオス朝時代

（全て古代エジプト美術館 渋谷蔵）



人型木棺／プトレマイオス朝時代初期

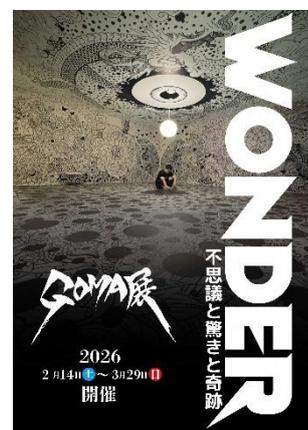


プトレマイオス 2 世フィラデルフィスの神殿の柱の基部／
プトレマイオス朝時代

④特別貸館「GOMA 展 WONDER ～不思議と驚きと奇跡～」

青森県在住の画家 GOMA の個展「GOMA 展」は、七戸町、田舎館村で開催を重ね、県南で初開催となる。今回は新作を多数展示し、今までの GOMA 展とは違った不思議と驚きと奇跡が体験できる。

- 会期：令和 8 年 2 月 14 日（土）～3 月 29 日（日）
- 主催：GOMALABO
- 共催：八戸市美術館



⑤八戸市美術展

八戸市文化協会との共催により、全館を使って市民が創作した書道や絵画、写真など多彩なジャンルの作品約 500 点を展示する。文化協会会員を中心とする展示に加え、広く市民や若手アーティスト、学生等の作品発表の場を提供する。

- 会期：前期 令和 7 年 9 月 18 日（木）～9 月 21 日（日）
後期 令和 7 年 9 月 25 日（木）～9 月 28 日（日）
- 主催：八戸市文化協会、八戸市美術館

⑥コレクションラボ

八戸市美術館の収蔵作品の中から厳選した作品を、毎回テーマを設定し、展示に合わせた実験的なプログラムを行いながら、展示入替の期間を除き通年で展示することで、多彩なコレクションに気軽に触れられる機会を提供する。

展覧会名称・会期	内容
010「西野こよ 表現への挑戦」 令和7年3月1日(土)～6月15日(日)	令和6年度新規収蔵の西野こよの作品を展示。
011「きっと、そこには」 令和7年9月13日(土)～12月8日(月)	人物画や風景画などを楽しみながら、絵が見つめる先にあるものや、絵には描かれていないものを感じ、考える展覧会。
012「渡辺貞一展(仮)」 令和7年12月13日(土)～令和8年3月23日(月)	青森市出身で、八戸ゆかりの作家とも交流のあった渡辺貞一の作品、世界観を紹介。
010「浅沼弘展(仮)」 令和8年3月28日(土)～7月20日(月)	浅沼弘と教育版画のつながりや、版画研究機関との関連を紹介。

⑦スケジュール

	R7.4	5	6	7	8	9	10	11	12	R8.1	2	3
企画展・巡回展		浮世絵展		ポケモン×		八戸市美術展	古代エジプト展					GOMA展
コレクションラボ	西野こよ			工芸展			きっと、そこには		渡辺貞一			浅沼弘

(2) プロジェクト

①アートファーマープロジェクト

美術館の企画や運営に能動的に関わる市民スタッフの「アートファーマー」と美術館スタッフが一緒に、美術館での学びを活かして、アーティストとの共同創作活動や来館者へのガイドなど、美術館と人、作品と人、人と人をつなぐ様々な取組を展開する。

■主なアートファーマープロジェクト

プロジェクト名	内容
建築ツアーガイド	アートファーマーの個性を活かしたガイドで八戸市美術館の建物の魅力を来館者に伝える。ガイド役と来館者との会話が弾む、双方向型のガイドツアー。
美術館のアクセシビリティ向上プログラム	アクセシビリティ(近づきやすさ、利用しやすさ)をテーマとし、年齢、性別、障がい、国籍などに関わらず、市民が美術館を利用しやすい環境をつくる。展覧会に合わせ、「手話通訳付き展覧会ガイドツアー」などを実施する。

美術館広報部	美術館のコンセプトや建物の特徴を学び、美術館での体験をとおして感じたことを web 等で発信するなど、メンバーが主体となって活動を企画し、実践していく。
(仮称) 美術館ものづくり部	ものづくり部を設置し、ものづくりができる場所をつくとともに、中心街での中高生の活動場所としての活動を推進する。

(3) 学校連携

①学校連携事業

小・中・高校の教員、美術館の学芸員、専門家による「学校連携プロジェクトチーム」の活動を継続する。子どもたちの力を伸ばして自ら新しい価値をつくり出せる人を育てるために、美術館を活動拠点に、学校の授業で役立つツールやプログラムづくりのほか、学校教育だけでは実現できない取組を行う。

②大学・高専連携事業

市内の大学・高専が有する専門性と美術館の専門性を掛け合わせて、社会人と学生と一緒に学び、社会で実践できるプログラムを展開する。未就学児・子育て世代や、障がい者や高齢者など、誰もが美術館を利用しやすい環境づくりなど、美術館のアクセシビリティを高める取組を行う。

(4) その他

「共に創る！アートのまちづくり魅力発見事業」

八戸歴史文化発信事業実行委員会（事務局：八戸クリニック街かどミュージアム）と連携し、同事業に係る美術館の「共創パートナー」を募り、各々で行われている文化イベント情報を紹介・連携する取組を行う。

LINE 公式アカウント「ヨッテミッテ」による文化芸術関連イベント情報の発信や、HP「はちのへヒストリア」との連携、「街なかアートマップ」の作成・配付、パートナーミーティング等を行う。